

今年度石川県にて開催されるインターハイの女子団体代表校 金沢高等学校の皆さんにインタビューをさせていただきました。

今回、金沢高校の皆さんは、6月に行われた石川県予選で女子団体2位となり、石川県の代表として出場します。先日行われました北信越大会においても、団体優勝を飾り、インターハイでも活躍が期待できるチームです。

○部員の皆さんに、インターハイに込めた思いなどを聞いてみました。

〈インターハイに向けての意気込みを一言お願いします〉

【高見さん(女子個人戦にも出場)】1試合1試合、全てを出し切ります！

【河邊さん】挑戦者として一つ一つの試合に集中します！

【安田さん】支えてくださった先生方に恩返しできるように頑張ります！

【尾蔵さん】Team「挑」の一員として全力で戦います！

【岡本さん】今までの練習の成果を十分に発揮したいです！

【宅本さん】自分らしい剣道を最後まで出し切ります！

【山本さん】チーム金沢として一緒に戦います！

【太田さん】チームの一員として一緒に頑張ります！

【杉本さん】エネルギー200%でチームに貢献します！

一人一人力強い言葉でハッキリと答えてくれたのがとても印象的でした。



〈インターハイの目標は？〉

【全員で】(せーのっ!) 日本一!!!!

力強く答えてくれました。



○監督の谷口智（たにぐちさとる）先生・土居裕佳（どいゆうか）先生にお話を伺いました。

〈石川インターハイへの思いなどお聞かせください。〉

【谷口智先生（女子個人 監督）】

私が中学2年生だった昭和60年に石川県でインターハイがあり、教員になってから再び石川県でインターハイすることはないんじゃないかなと思っていました。平成24年に新潟県でインターハイ剣道が開催された際、「次の北信越総体では石川県で是非開催したい！」と言っていた記憶がありますが、まさにその通りになり、驚きと嬉しさがありました。

石川県で開催することが決まってからは、選手が中学生の頃から招集し強化してきたので思い入れは強いです。生徒にとっても運命だし、良い結果が出るように日々の練習に取り組んできました。良い結果を出すことが、今大会の開催を支えていただいている方への恩返しになると思っています。

日本一になるべくしてなる。日本一にふさわしいチームになります。見ていてください！

【土居裕佳先生（女子団体 監督）】

昨年の6月から、「石川インターハイで日本一になる」ために、やるべきことは妥協せず積み重ねてきました。一戦一戦、積み重ねてきたことを出し切りたいと思います。

そしてこの状況で、応援や準備して下さる方々に結果で恩返ししたいと思っています。生徒たちが見たことのない景色を見せてあげるために、残りの時間を全力で費やしていきたいです。



今年度石川県にて開催されるインターハイの女子個人に出場する星稜高等学校の松田悠花さんにインタビューをさせていただきました。

6月に行われた石川県予選では女子団体は3位と悔しい結果となり、団体でのインターハイ出場は叶いませんでしたが、仲間の期待を背負い「星稜高校剣道部の代表」として女子個人戦に出場します。



○インターハイに込めた思いなどを聞いてみました。

【松田悠花（まつだゆうか）選手】

〈インターハイに向けての意気込みを一言お願いします〉

コロナ禍で大会開催が難しい中、仲間や支えて下さる方々、試合が出来ることに感謝し、地元石川県の代表として最後まで諦めず、1試合1試合全力で戦います。

〈インターハイの目標は？〉

優勝です！

〈どんな試合をしたいですか？〉

自分の剣道を崩さず、常に強気で相手に立ち向かい、思い切った試合をしたいです。

【監督・吉田真衣（よしだまい）先生】

〈監督としての意気込みや思いをお聞かせください。〉

監督としてインターハイに参加することは初めてです。このような経験させてもらえるのも生徒の頑張りや、インターハイ開催に関わる方々おかげだと思っています。本当にありがとうございます。

生徒が全国の舞台で力を発揮できるようにサポートしていこうと思います！

〈どんな試合をしてほしいですか？〉

松田は人生で初めての全国大会となります。会場の雰囲気にもまれることなく自分らしく思い切り試合をして欲しいです。思い切った1本を楽しみにしています！

